

福島第一原子力発電所 3号機燃料デブリ取り出しに係る設計検討について

2025年7月29日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 3号機における燃料デブリ取り出し規模の更なる拡大に向けて、原子力損害賠償・廃炉等支援機構（以下、NDF という）が 2023 年に設置した「燃料デブリ取り出し工法評価小委員会（以下、小委員会という）」において、安全性を大前提に総合的な検討・評価が行われ、2024 年 3 月、工法選定に関する提言等について報告書^{※1}が取りまとめられました。

当社は、本報告書に沿って 3 号機燃料デブリ取り出しに係る設計検討を進め、小委員会へ検討状況を適宜報告するとともに、委員の助言等を踏まえて検討を進めてまいりました。

このたび、当社は当該設計検討を取りまとめ、小委員会へ報告^{※2}いたしましたので、その概要を別紙のとおりお知らせいたします。

燃料デブリ取り出しは、福島第一原子力発電所のリスク低減と前例のない技術的挑戦という両面で、廃炉を進める上で極めて重要な取り組みです。当社は、引き続き、燃料デブリ取り出しに向け、難易度の高い作業を、安全性を大前提にステップ・バイ・ステップで進め、中長期ロードマップにおける 30～40 年後の廃止措置終了を目指し、福島第一原子力発電所の廃炉を貫徹してまいります。

※1：2024 年 3 月 8 日 NDF 公表の「燃料デブリ取り出し工法評価小委員会報告書」

小委員会において、3 号機燃料デブリ取り出し規模の更なる拡大における、各工法の評価や工法選定への提言等を報告書として取りまとめたもの。

（参考）[原子力損害賠償・廃炉等支援機構 燃料デブリ取り出し工法評価小委員会報告書](#)

※2：2025 年 7 月 23 日開催の小委員会において、当社から 3 号機燃料デブリ取り出しに係る設計検討を報告。

別紙

・[3 号機燃料デブリ取り出しに係る設計検討について（2025 年 7 月 23 日小委員会 提出資料）](#)

以 上